

平成30年度

全国学力・学習状況調査結果について



平成30年8月

山口県教育庁義務教育課

## 目 次

1 教科に関する結果	P 1
(1) 全体の結果	P 1
(2) 各教科の結果	P 1
(3) 具体的な問題と解答状況	P 16
2 質問紙調査の結果	P 34
(1) 児童生徒質問紙	P 34
(2) 学校質問紙	P 44

### 《平成30年度全国学力・学習状況調査の概要》

- 目 的
- ・義務教育の機会均等と水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、改善を図る。
  - ・学校における児童生徒への教育指導の充実や、学習状況の改善等に役立てる。
  - ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 調査期日 平成30年4月17日（火）
- 調査方式 悉皆調査
- 実施学校数・児童生徒数（山口県）
- |         |                                |         |
|---------|--------------------------------|---------|
| 【小学校6年】 | 公立小学校 282校、特別支援学校 2校           | 10,912人 |
| 【中学校3年】 | 公立中学校 145校、中等教育学校 1校、特別支援学校 6校 | 10,701人 |
- 調査内容
- ①教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）
- ・問題A：主として「知識」に関する問題
  - ・問題B：主として「活用」に関する問題
  - ※理科は「知識」と「活用」に関する問題を一体的に出題
- ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
- ・児童生徒に対する調査（児童生徒質問紙）
  - ・学校に対する調査（学校質問紙）

## 平成30年度全国学力・学習状況調査結果について

### 1 教科に関する結果

#### (1) 全体の結果

- 小学校では、全ての区分で全国平均以上である。
- 中学校では、区分によって差はあるものの、概ね全国平均と同程度である。

#### (2) 各教科の結果

##### ①全国の平均正答数、平均正答率との比較

※ 平成29年度から、都道府県等における各区分の平均正答率は整数値で提供されているため、全国平均との差を範囲で示している。

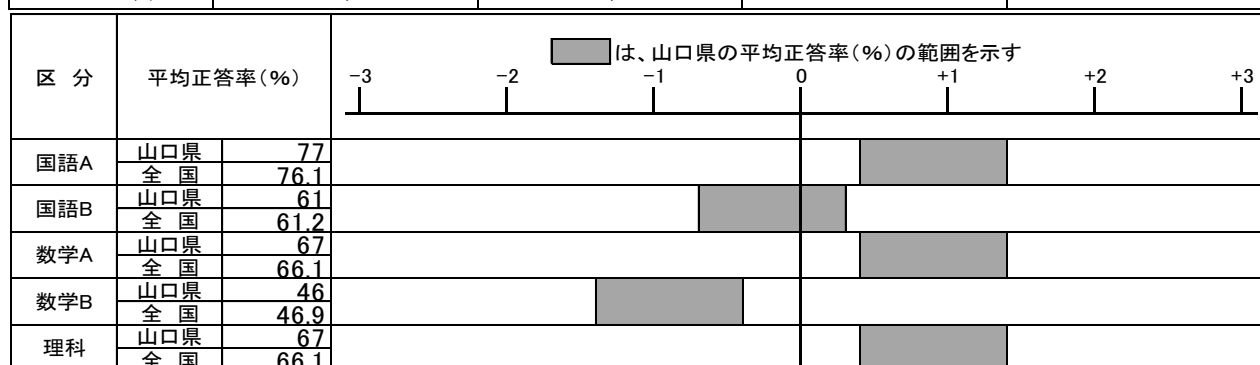
#### 【小学校】

	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	8.6/12	8.5/12	72	70.7
国語B	4.6/8	4.4/8	57	54.7
算数A	8.9/14	8.9/14	64	63.5
算数B	5.2/10	5.1/10	52	51.5
理 科	9.9/16	9.6/16	62	60.3



#### 【中学校】

	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	24.6/32	24.3/32	77	76.1
国語B	5.5/9	5.5/9	61	61.2
数学A	24.2/36	23.8/36	67	66.1
数学B	6.5/14	6.6/14	46	46.9
理 科	18.0/27	17.9/27	67	66.1



〔参考〕過去の調査での平均正答数と平均正答率

【平成29年度】

小学校	平均正答数（問）		平均正答率（％）	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	11.4 / 15	11.2 / 15	76	74.8
国語B	5.2 / 9	5.2 / 9	58	57.5
算数A	11.8 / 15	11.8 / 15	79	78.6
算数B	5.0 / 11	5.1 / 11	45	45.9

中学校	平均正答数（問）		平均正答率（％）	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	25.4 / 32	24.8 / 32	79	77.4
国語B	6.6 / 9	6.5 / 9	73	72.2
数学A	23.9 / 36	23.3 / 36	66	64.6
数学B	7.4 / 15	7.2 / 15	49	48.1

【平成28年度】

小学校	平均正答数（問）		平均正答率（％）	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	11.2 / 15	10.9 / 15	74.6	72.9
国語B	5.9 / 10	5.8 / 10	58.7	57.8
算数A	12.5 / 16	12.4 / 16	78.4	77.6
算数B	6.3 / 13	6.1 / 13	48.1	47.2

中学校	平均正答数（問）		平均正答率（％）	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	25.4 / 33	25.0 / 33	76.9	75.6
国語B	6.1 / 9	6.0 / 9	68.2	66.5
数学A	22.9 / 36	22.4 / 36	63.6	62.2
数学B	6.8 / 15	6.6 / 15	45.0	44.1

【平成27年度】 ※平成27年度は理科を実施

小学校	平均正答数（問）		平均正答率（％）	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	10.1 / 14	9.8 / 14	72.1	70.0
国語B	6.1 / 9	5.9 / 9	67.5	65.4
算数A	12.3 / 16	12.0 / 16	77.1	75.2
算数B	6.0 / 13	5.9 / 13	46.4	45.0
理 科	15.0 / 24	14.6 / 24	62.7	60.8

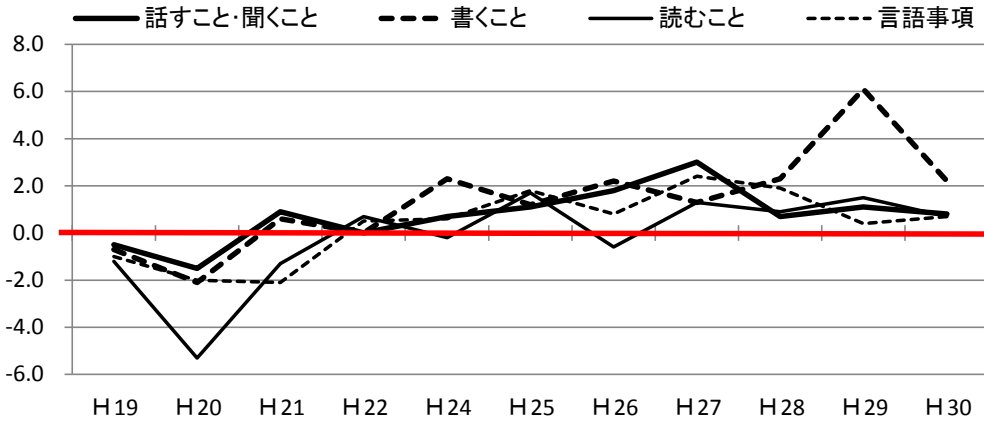
中学校	平均正答数（問）		平均正答率（％）	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	25.2 / 33	25.0 / 33	76.4	75.8
国語B	6.0 / 9	5.9 / 9	66.3	65.8
数学A	23.5 / 36	23.2 / 36	65.3	64.4
数学B	6.4 / 15	6.2 / 15	42.4	41.6
理 科	13.3 / 25	13.3 / 25	53.0	53.0

## ②領域別平均正答率の全国との比較【小学校】

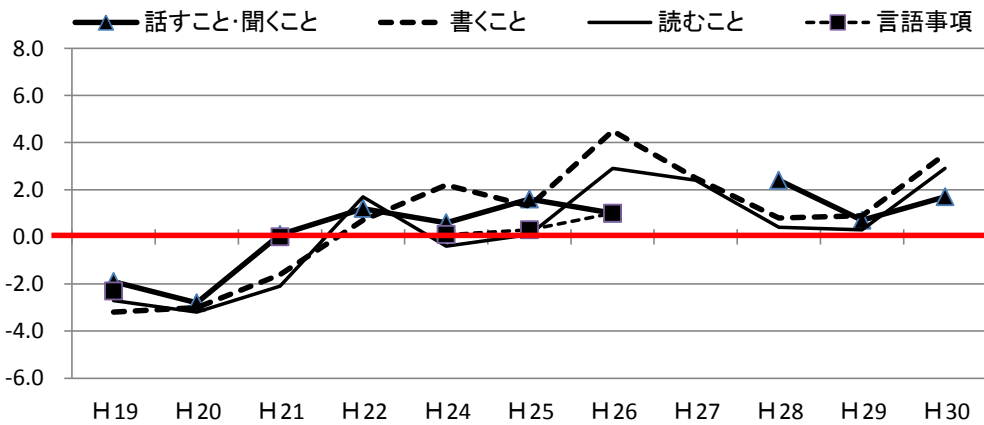
【国語】

国語A・Bともに、全ての領域で全国平均を上回っている。国語Aの「書くこと」では、全国平均との差が小さくなっているが、国語Bの「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「読むこと」には成果が見られる。

### 国語A(知識)



### 国語B(活用)



#### [国語A:主として「知識」に関する問題]

領域	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
話すこと・聞くこと	-0.5	-1.5	0.9	0.0	0.7	1.1	1.8	3.0	0.7	1.1	0.8
書くこと	-0.7	-2.1	0.6	0.0	2.3	1.2	2.2	1.3	2.3	6.1	2.2
読むこと	-1.2	-5.3	-1.3	0.7	-0.2	1.7	-0.6	1.3	0.9	1.5	0.7
言語事項	-1.0	-2.0	-2.1	0.5	0.6	1.8	0.8	2.4	1.9	0.4	0.7

#### [国語B:主として「活用」に関する問題]

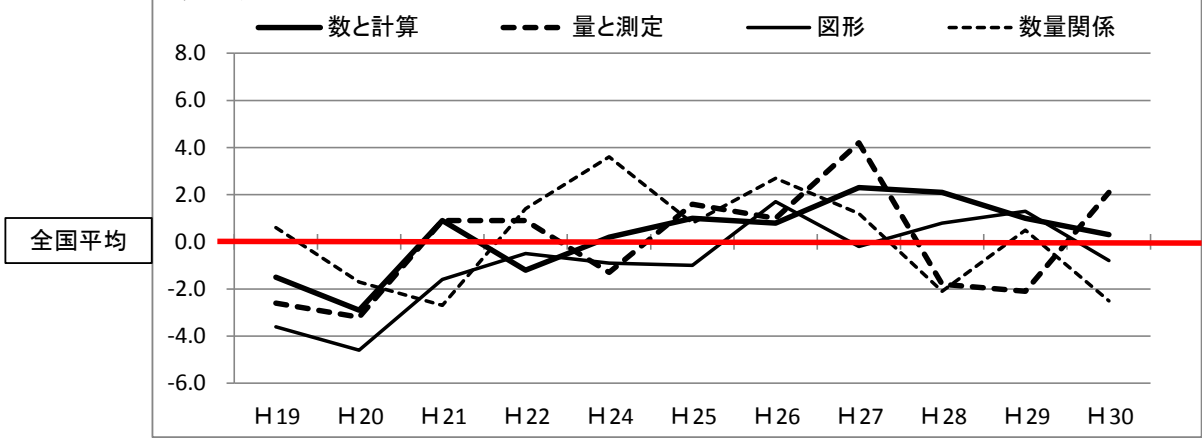
領域	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
話すこと・聞くこと	-1.9	-2.8	0.1	1.2	0.6	1.6	1.0	2.4	2.4	0.7	1.7
書くこと	-3.2	-3.0	-1.6	0.7	2.2	1.3	4.5	2.5	0.8	0.9	3.5
読むこと	-2.7	-3.2	-2.1	1.7	-0.4	0.1	2.9	2.4	0.4	0.3	2.9
言語事項	-2.3	-	0.0	-	0.1	0.3	1.0	-	-	-	-

※ 言語事項とは、古典、文法、漢字・ローマ字、書写等に関する内容。平成24年度からは「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」。

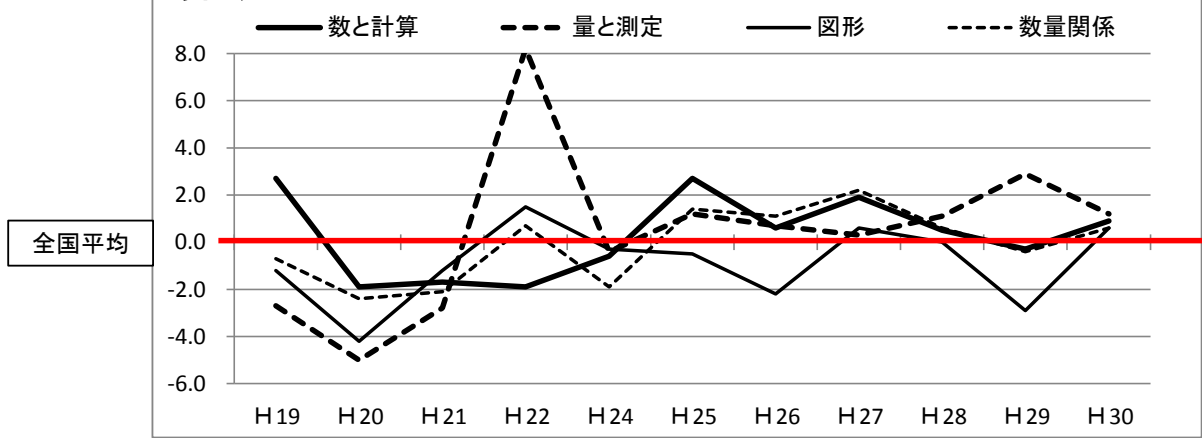
[算数]

算数Aでは、「量と測定」の領域には成果が見られるものの、「図形」「数量関係」の領域は全国平均を下回っている。算数Bでは、全ての領域で全国平均を上回っており、特に、「図形」の領域に成果が見られる。

算数A(知識)



算数B(活用)



[算数A:主として「知識」に関する問題]

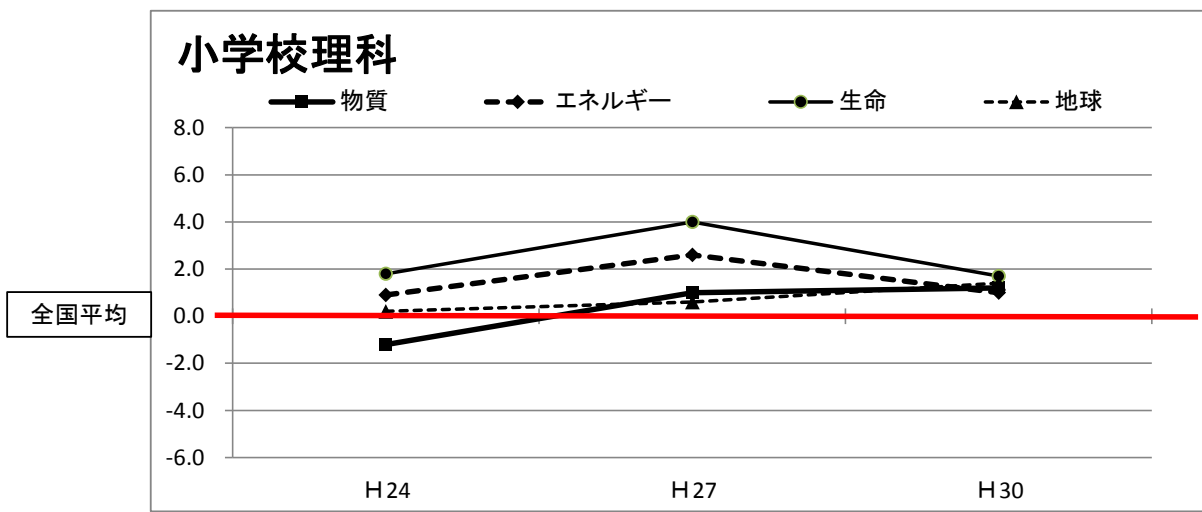
領域	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
数と計算	-1.5	-2.9	0.9	-1.2	0.2	1.0	0.8	2.3	2.1	1.0	0.3
量と測定	-2.6	-3.2	0.9	0.9	-1.3	1.6	1.0	4.2	-1.8	-2.1	2.1
図形	-3.6	-4.6	-1.6	-0.5	-0.9	-1.0	1.7	-0.2	0.8	1.3	-0.8
数量関係	0.6	-1.7	-2.7	1.4	3.6	0.8	2.7	1.2	-2.1	0.5	-2.5

[算数B:主として「活用」に関する問題]

領域	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
数と計算	2.7	-1.9	-1.7	-1.9	-0.6	2.7	0.6	1.9	0.5	-0.3	0.9
量と測定	-2.7	-5.0	-2.8	8.2	-0.4	1.2	0.7	0.3	1.1	2.9	1.2
図形	-1.2	-4.2	-1.2	1.5	-0.3	-0.5	-2.2	0.6	±0	-2.9	0.6
数量関係	-0.7	-2.4	-2.1	0.7	-1.9	1.4	1.1	2.2	0.6	-0.4	0.6

[理科]

小学校理科では、全ての領域で全国平均を上回っている。「エネルギー」「生命」の領域は全国平均との差が小さくなっているが、「物質」「地球」の領域は全国平均との差が大きくなっている。



[小学校理科]

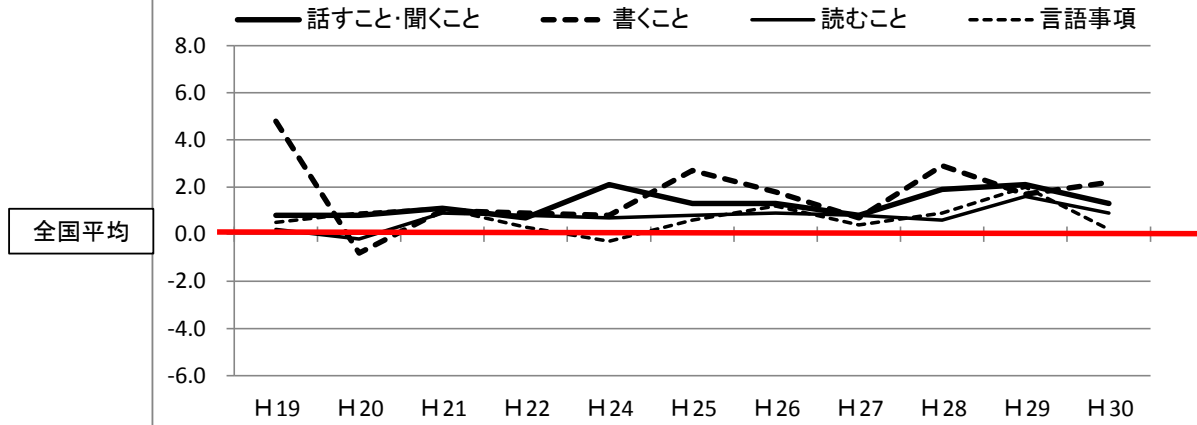
領域	H24	H27	H30
物質	-1.2	1.0	1.2
エネルギー	0.9	2.6	1.0
生命	1.8	4.0	1.7
地球	0.2	0.6	1.4

### ③領域別平均正答率の全国との比較【中学校】

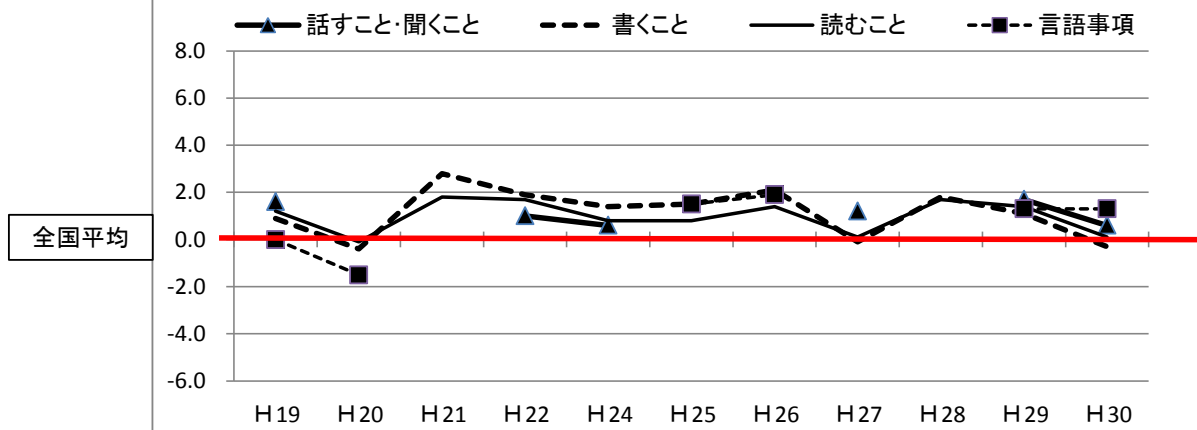
【国語】

国語Aでは、全ての領域で全国平均を上回っているものの、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「言語事項」は全国平均との差が小さくなっている。国語Bでは、「書くこと」が全国平均を下回っており、「話すこと・聞くこと」「読むこと」は、全国平均との差が小さくなっている。

#### 国語A(知識)



#### 国語B(活用)



#### 【国語A:主として「知識」に関する問題】

領域	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
話すこと・聞くこと	0.8	0.8	1.1	0.7	2.1	1.3	1.3	0.8	1.9	2.1	1.3
書くこと	4.8	-0.8	1.0	0.9	0.8	2.7	1.8	0.7	2.9	1.7	2.2
読むこと	0.2	-0.2	0.9	0.8	0.7	0.8	0.9	0.8	0.6	1.6	0.9
言語事項	0.5	0.9	1.1	0.3	-0.3	0.6	1.2	0.4	0.9	2.0	0.2

#### 【国語B:主として「活用」に関する問題】

領域	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
話すこと・聞くこと	1.6	/	/	1.0	0.6	/	/	1.2	/	1.7	0.6
書くこと	0.9	-0.4	2.8	1.9	1.4	1.5	2.1	-0.1	1.8	1.1	-0.3
読むこと	1.2	-0.1	1.8	1.7	0.8	0.8	1.4	0.1	1.7	1.4	0.1
言語事項	0.0	-1.5	/	/	/	1.5	1.9	/	/	1.3	1.3

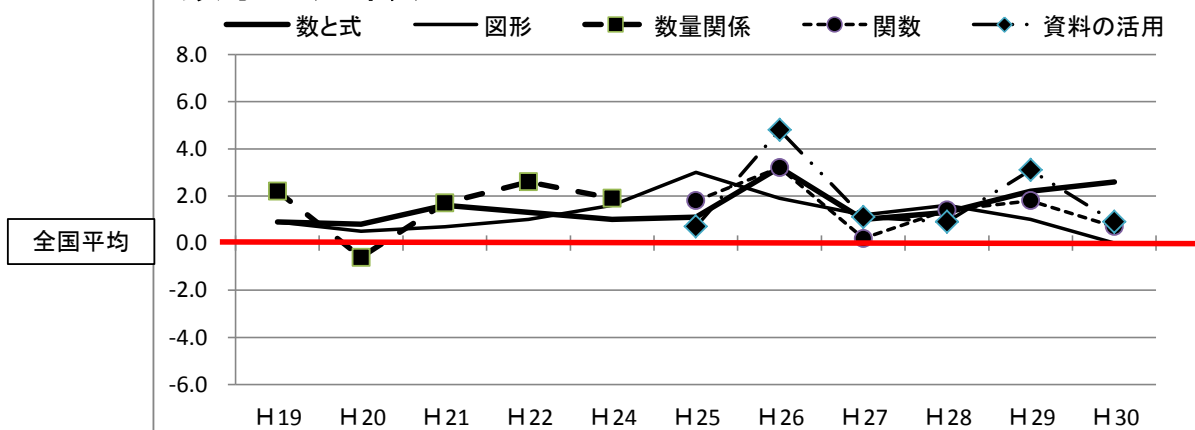
※ 言語事項とは、古典、文法、漢字・ローマ字、書写等に関する内容。平成25年度からは「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」。



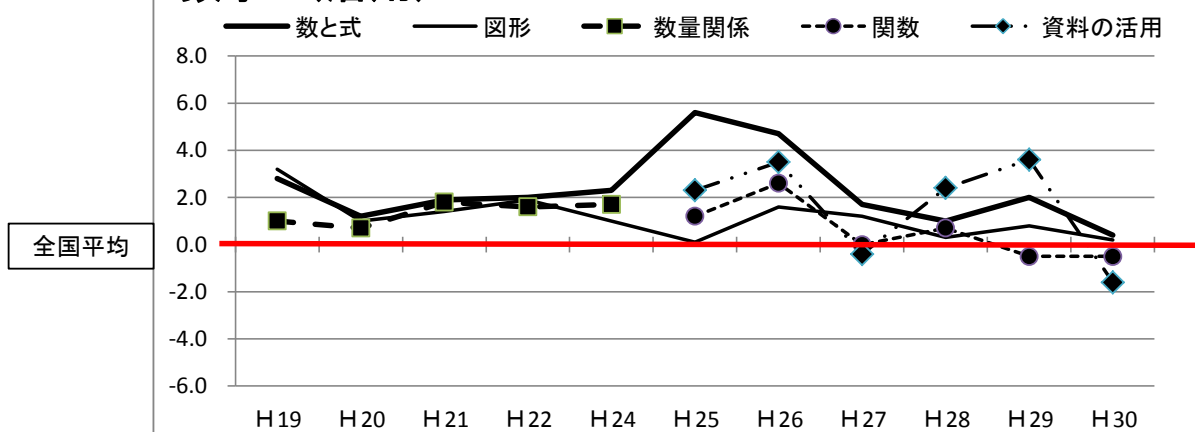
[数学]

数学Aでは、「数と式」の領域には成果が見られるものの、その他の領域は、全国平均との差が小さくなっている。数学Bでは、「関数」「資料の活用」の領域が全国平均を下回っており、特に「資料の活用」の領域では全国との差が大きい。

### 数学A(知識)



### 数学B(活用)



[数学A:主として「知識」に関する問題]

領域	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
数と式	0.9	0.8	1.6	1.3	1.0	1.1	3.2	1.0	1.3	2.2	2.6
図形	0.9	0.5	0.7	1.0	1.6	3.0	1.9	1.2	1.6	1.0	0.0
数量関係	2.2	-0.6	1.7	2.6	1.9	1.8	3.2	0.2	1.4	1.8	0.7
関数	0.9	0.5	0.7	1.0	1.6	3.0	1.9	1.2	1.6	1.0	0.0
資料の活用	0.9	0.5	0.7	1.0	1.6	3.0	1.9	1.2	1.6	1.0	0.0

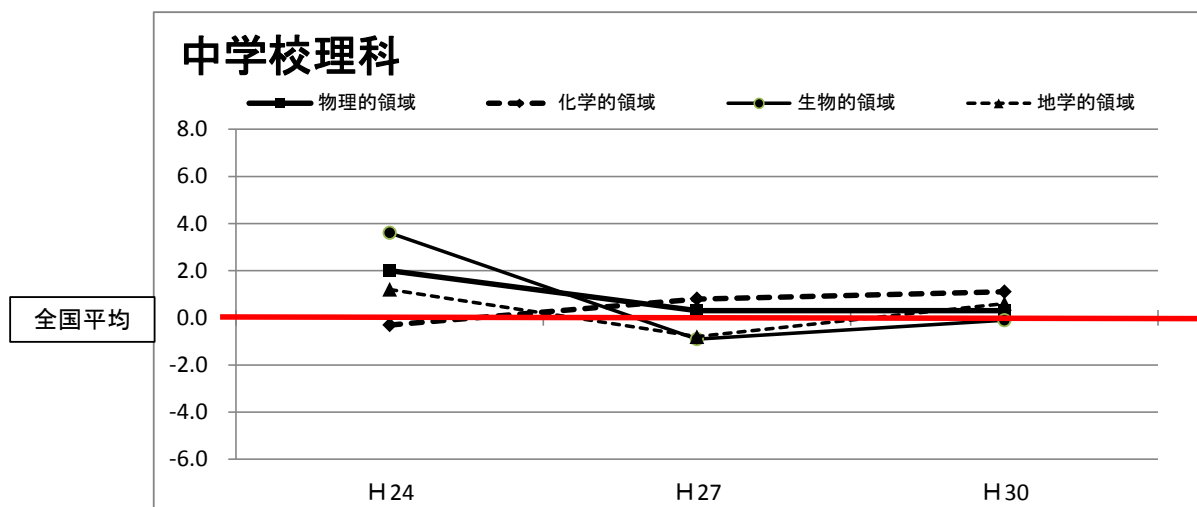
[数学B:主として「活用」に関する問題]

領域	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
数と式	2.8	1.2	1.9	2.0	2.3	5.6	4.7	1.7	1.0	2.0	0.4
図形	3.2	1.0	1.4	1.9	1.0	0.1	1.6	1.2	0.3	0.8	0.2
数量関係	1.0	0.7	1.8	1.6	1.7	1.2	2.6	±0	0.7	-0.5	-0.5
関数	1.0	0.7	1.8	1.6	1.7	2.3	3.5	-0.4	2.4	3.6	-1.6
資料の活用	1.0	0.7	1.8	1.6	1.7	2.3	3.5	-0.4	2.4	3.6	-1.6

※「数量関係」の領域は、平成25年度から「関数」と「資料の活用」の2領域に分けられている。

[理科]

中学校理科では、「生物的領域」で全国平均を下回っているものの、その他の領域は全国平均を上回っており、特に「地学的領域」に成果が見られる。



[中学校理科]

領域	H24	H27	H30
物理的領域	2.0	0.3	0.3
化学的領域	-0.3	0.8	1.1
生物的領域	3.6	-0.9	-0.1
地学的領域	1.2	-0.8	0.6

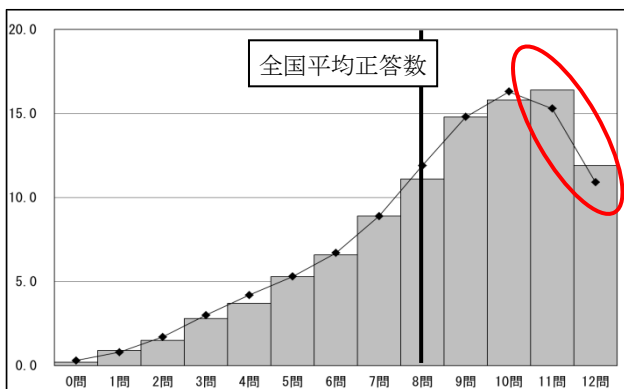
#### ④正答数分布

##### 【小学校 国語】

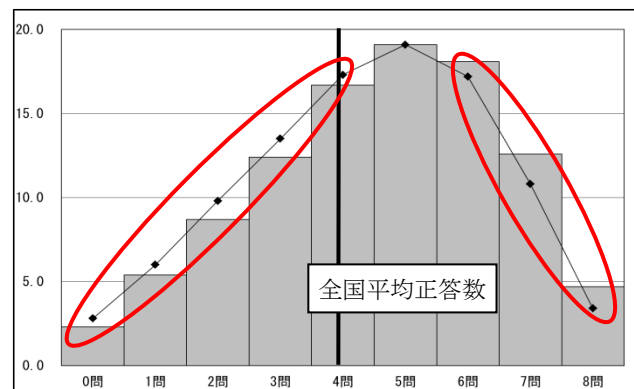
- 国語Aについては、全国と比べ正答数の多い児童の割合が高い。
- 国語Bについては、全国と比べ正答数の多い児童の割合が高く、正答数の少ない児童の割合が低い。

平成30年度

〔国語A〕（知識）

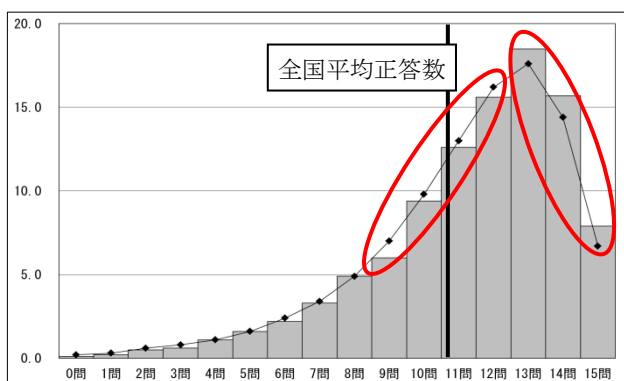


〔国語B〕（活用）

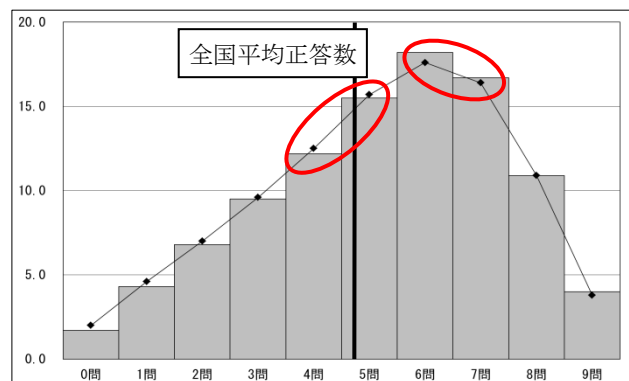


(参考) 平成29年度

〔国語A〕（知識）




〔国語B〕（活用）



〔グラフについて〕

横軸は児童が正答した問題数、縦軸は正答数ごとの児童の割合（%）を示している。

 特徴的な部分

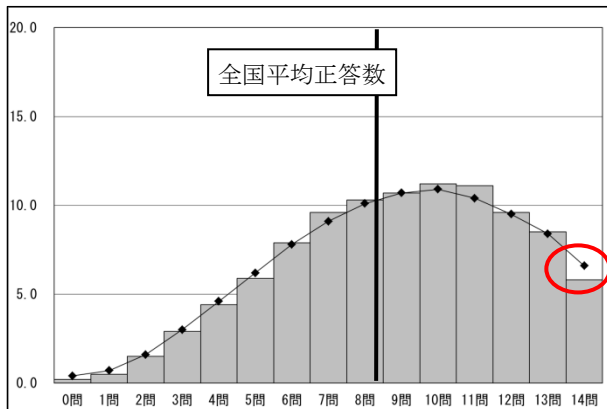
凡例  山口県  
 全国

【小学校 算数】

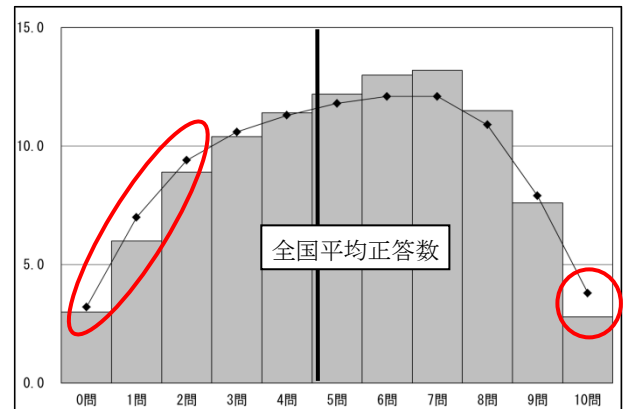
- 算数Aについては、ほぼ全国と同様の分布状況にあるが、全国と比べ全問正答の児童の割合がやや低い。
- 算数Bについては、全国と比べ正答数の少ない児童の割合が低いものの、全問正答の児童の割合が低い。

平成30年度

[算数A] (知識)

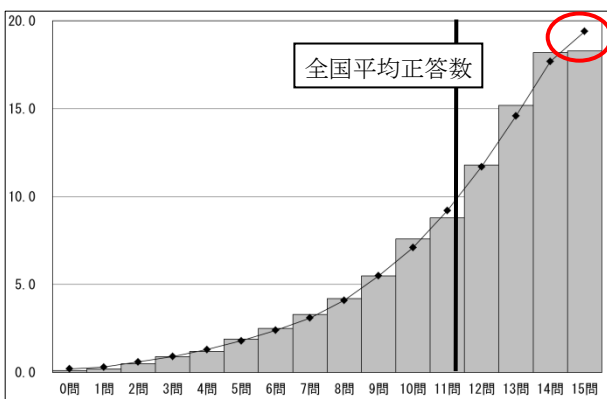


[算数B] (活用)

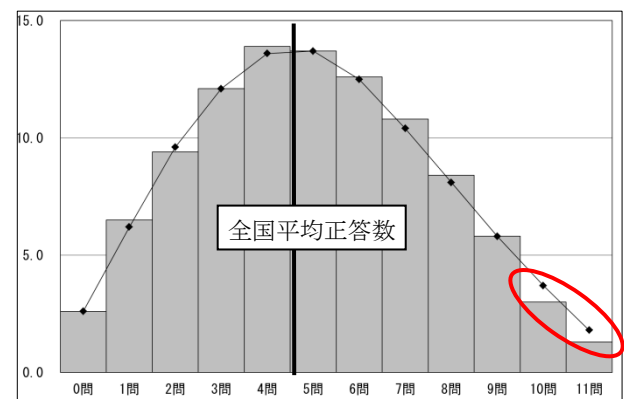


(参考) 平成29年度

[算数A] (知識)





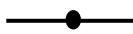
[算数B] (活用)



[グラフについて]

横軸は児童が正答した問題数、縦軸は正答数ごとの児童の割合 (%) を示している。

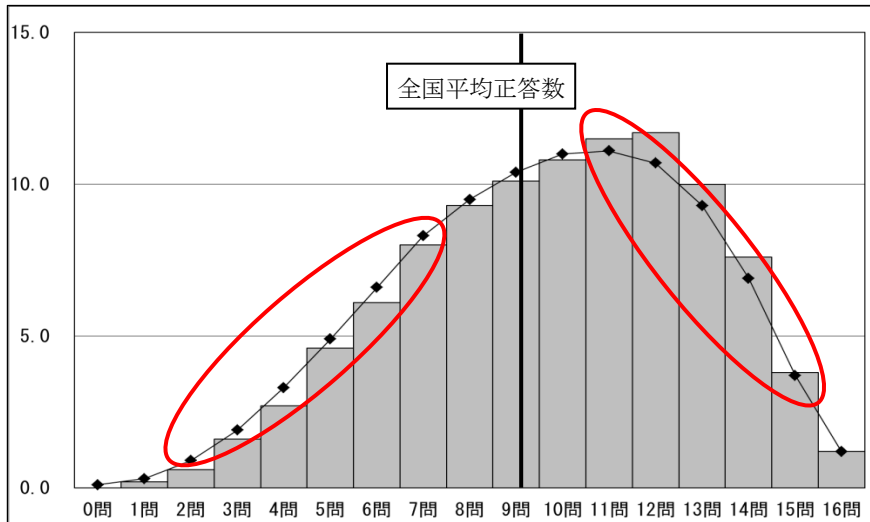
 特徴的な部分

凡例  山口県  
 全国

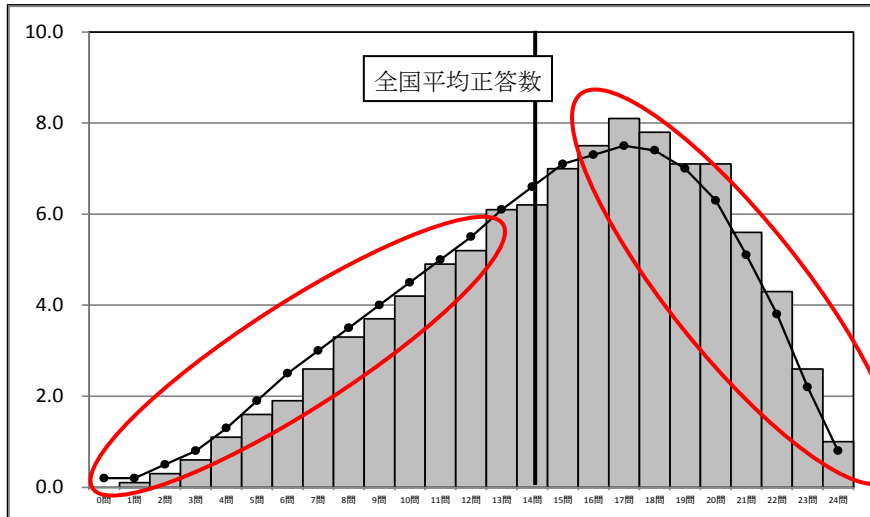
【小学校 理科】

- 全国と比べ正答数の多い児童の割合が高く、正答数の少ない児童の割合が低い。

平成30年度





(参考) 平成27年度



[グラフについて]

横軸は児童が正答した問題数、縦軸は正答数ごとの児童の割合 (%) を示している。

 特徴的な部分

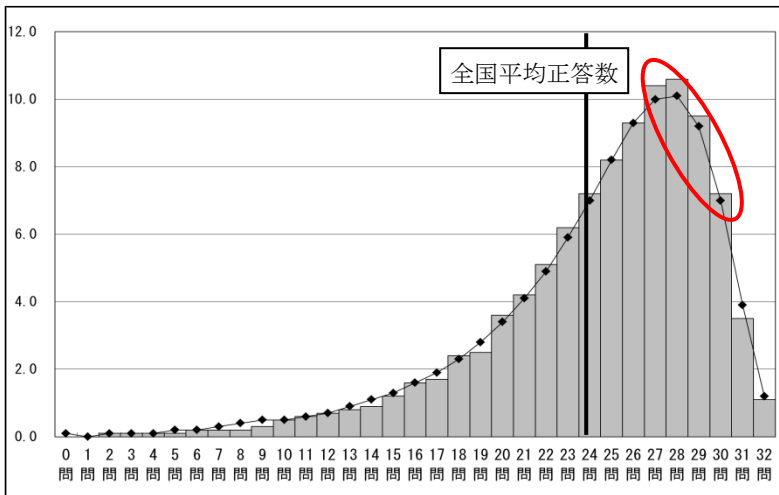
凡例  山口県  
 全国

【中学校 国語】

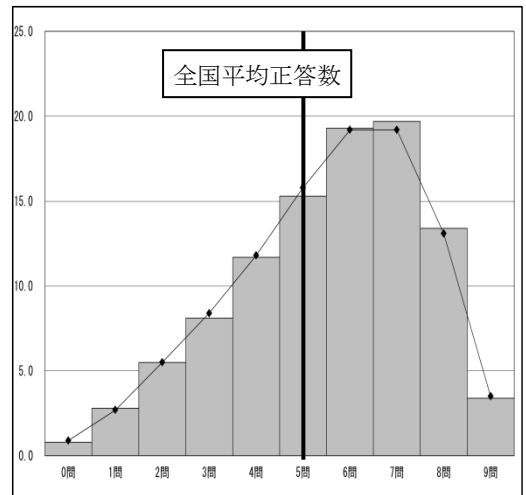
- 国語Aについては、ほぼ全国と同様の分布状況にあり、全国平均正答数をやや上回る生徒の割合が高い。
- 国語Bについては、ほぼ全国と同様の分布状況にある。

平成30年度

〔国語A〕（知識）

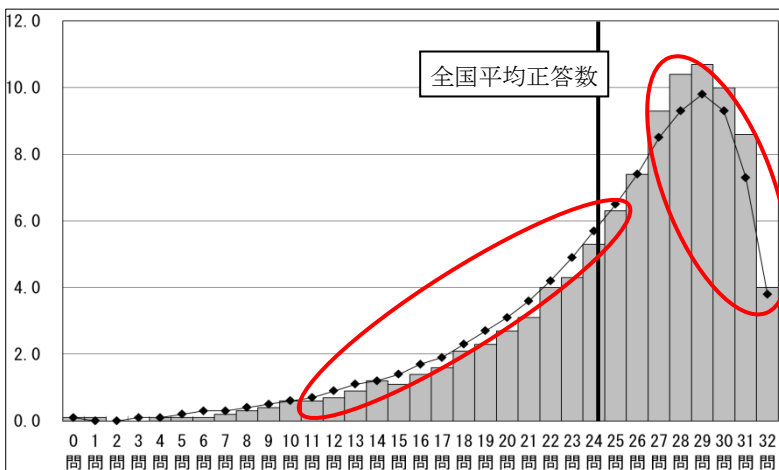


〔国語B〕（活用）

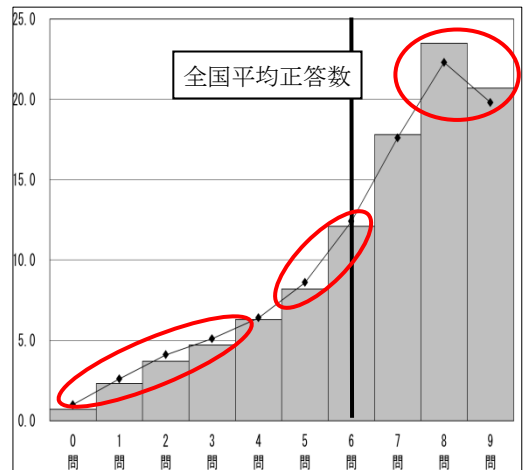


(参考) 平成29年度

〔国語A〕（知識）





〔国語B〕（活用）



〔グラフについて〕

横軸は生徒が正答した問題数、縦軸は正答数ごとの生徒の割合（％）を示している。

○ 特徴的な部分

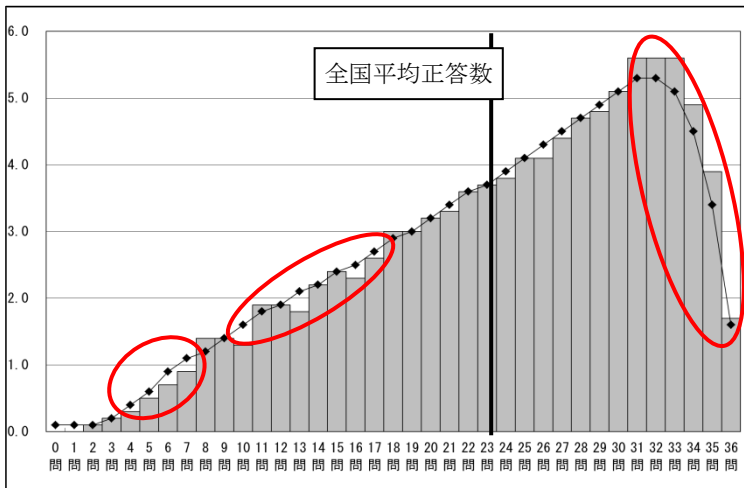
凡例  山口県  
 全国

【中学校 数学】

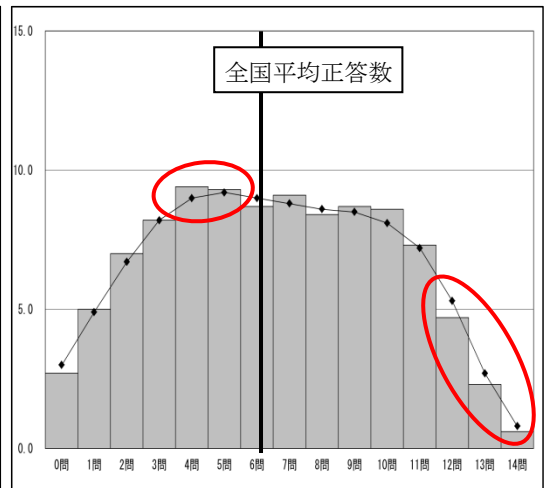
- 数学Aについては、全国と比べ正答数の多い生徒の割合が高く、正答数の少ない生徒の割合が低い。
- 数学Bについては、ほぼ全国と同様の分布状況にあるが、正答数の多い生徒の割合が低く、全国平均正答数をやや下回る生徒の割合が高い。

平成30年度

〔数学A〕（知識）

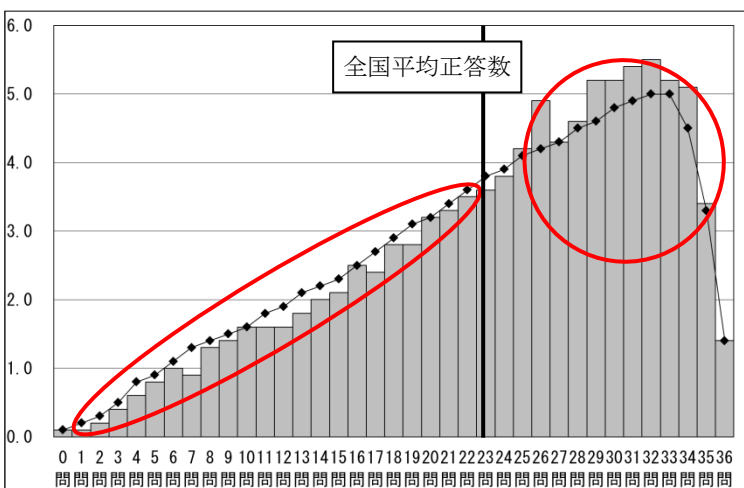


〔数学B〕（活用）

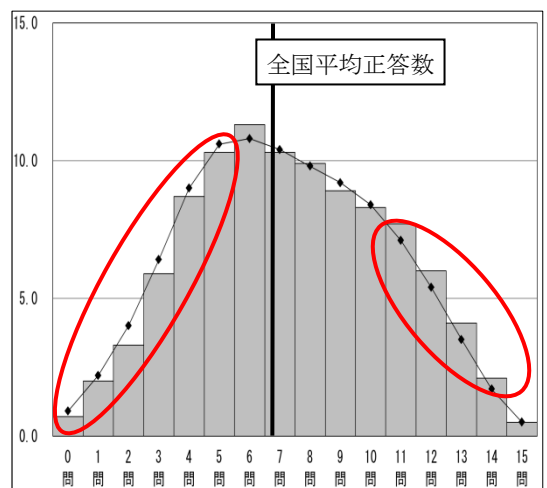


(参考) 平成29年度

〔数学A〕（知識）




〔数学B〕（活用）



〔グラフについて〕

横軸は生徒が正答した問題数、縦軸は正答数ごとの生徒の割合（％）を示している。

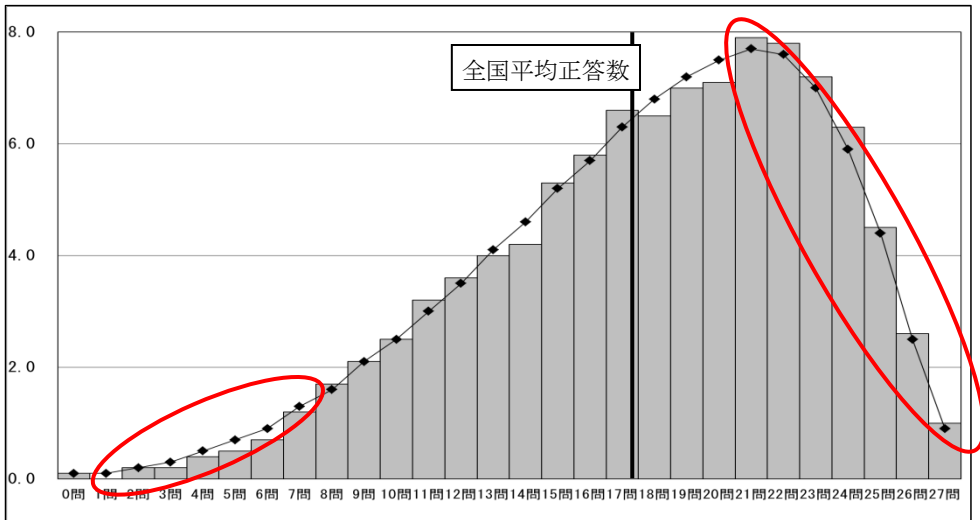
 特徴的な部分

凡例  山口県  
 全国

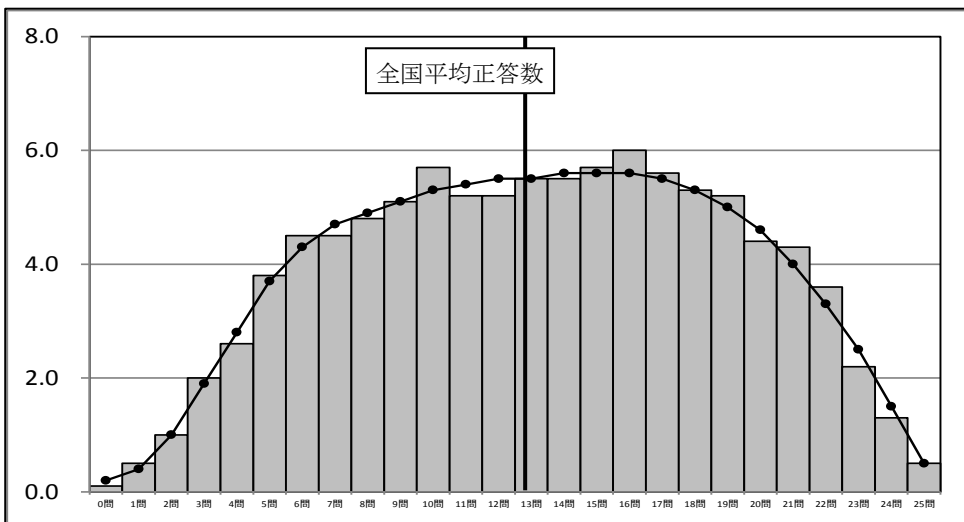
【中学校 理科】

- 全国と比べ正答数の多い生徒の割合が高く、正答数の少ない生徒の割合が低い。

平成30年度






(参考) 平成27年度



[グラフについて]

横軸は生徒が正答した問題数、縦軸は正答数ごとの生徒の割合 (%) を示している。

 特徴的な部分

凡例  山口県  
 全国



## ⑤各教科ごとの結果

### ア 小学校国語

- 国語Aについては、平均正答率が72%であり、全国平均を上回っているものの、知識・技能の定着にやや課題が見られる。
- 国語Bについては、平均正答率が57%であり、全国平均を上回っているものの、知識・技能の活用に課題が見られる。

### イ 小学校算数

- 算数Aについては、平均正答率が64%であり、全国平均と同程度であるが、知識・技能の定着に課題が見られる。
- 算数Bについては、平均正答率が52%であり、全国平均と同程度であるが、知識・技能の活用に課題が見られる。

### ウ 小学校理科

- 理科については、平均正答率が62%であり、全国平均を上回っているものの、知識・技能の活用に課題が見られる。  
(「知識」に関する問題平均正答率：80%、「活用」に関する問題平均正答率：57%)

### エ 中学校国語

- 国語Aについては、平均正答率が77%であり、全国平均を上回っているものの、知識・技能の定着にやや課題が見られる。
- 国語Bについては、平均正答率が61%であり、全国平均と同程度であるが、知識・技能の活用に課題が見られる。

### オ 中学校数学

- 数学Aについては、平均正答率が67%であり、全国平均を上回っているものの、知識・技能の定着に課題が見られる。
- 数学Bについては、平均正答率が46%であり、全国平均を下回っており、知識・技能の活用に課題が見られる。

### カ 中学校理科

- 理科については、平均正答率が67%であり、全国平均を上回っているものの、知識・技能の定着と活用に課題が見られる。  
(「知識」に関する問題平均正答率：68%、「活用」に関する問題平均正答率：66%)